

## 学校評価アンケート 集計結果（令和3年7月実施）

### 【表の見方について】

「重要度」・「実現度」・・・7点満点で、数字が高ければ「重要である」、「できている」と評価できる。  
 「ニーズ度」・・・数字が高ければ重要度と実現度の差が大きく取組の見直しが必要とされる。

	質問文	実現度		
		1・2年	3・4年	5・6年
確かな学力	1 授業中、勉強はよくわかりますか。	6	5.5	5.2
	2 授業中、勉強に一生懸命取り組んでいますか。	6.1	5.7	5.1
	3 進んで発表したり、しっかり人の話を聞いたりしていますか。	6	5.5	4.6
	4 毎日、決まった時間、家庭学習をしていますか(15分×学年)	6.1	4.8	3.8
	5 学校や家で、進んで読書をしていますか。(本を読んでいますか)	5.1	4.6	3.3
豊かな心	6 クラスや学校での生活は楽しいですか。	6.3	5.8	6.1
	7 進んで「おはよう」「ありがとう」などのあいさつが言えますか。	6.3	5.7	5.5
	8 学校やクラスのきまりや約束を守っていますか。	6.2	5.5	4.1
	9 思いややの気持ちを持ち、相手のことを考えて行動していますか。	6.2	5.4	5
	10 進んで係や当番の仕事をしていますか	6.5	5.9	5.4
健やかなかから	11 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活をしていますか。	5.9	5.5	4.7
	12 10時間以上の睡眠をとっていますか。(中高学年は8時間)	5.5	5.6	5.2
サポート	13 クラスや学校の活動や生活で、人の役に立っていると感じていますか。	5.9	4.7	4
	14 自分には、よいところがあると思いますか。	6.1	5.1	3.9
	15 今の自分が好きですか。	5.9	4.1	3.7
いじめ	16 学校であったことを、家の人に話していますか。	5.8	5.3	4.9
	17 困ったことやいやなことがあったら、友達や周りの大人に相談できますか。	6	5.1	4.9
	18 クラスや学年、学校の仲間を大切にしていますか。	6.5	6.1	6

	質問文	保護者			教職員		
		重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 子どもにとって授業がよく分かること。	6.8	6	13.6	7	4.4	25.2
	2 子どもが授業に一生懸命取り組むこと。	6.8	6.1	12.9	7	4.5	24.5
	3 授業中、子どもが進んで発表したり、しっかり周りの話を聞いたりすること。	6.7	5.8	14.7	6.8	4.3	25.2
	4 子どもが毎日、学年相応(10~15分×学年)の時間、家庭学習に取り組むこと。	6.1	5.4	15.9	5.7	4.2	21.7
	5 子どもが学校や家で、進んで読書をすること。	6	5.2	16.8	5.7	3.7	24.5
豊かな心	6 子どもが毎日楽しく学校に通うこと。	6.9	6.5	10.4	7	5.6	16.8
	7 子どもが進んで「おはよう」等の挨拶や、「ありがとう」が言えること。	6.9	6	13.8	7	4.5	24.5
	8 子どもが、学級や学校のきまりや約束を守ること。	6.7	6.1	12.7	6.9	4.3	25.5
	9 子どもが相手を思いやり、考えて行動すること。	6.9	6.1	13.1	6.9	4.5	24.2
	10 子どもが進んで手伝いをすること。	6.4	6.1	12.2	6.6	5	19.8
健やかなかから	11 子どもが早寝・早起き・朝ご飯等、規則正しい生活をすること。	6.8	6.1	12.9	6.5	4.6	22.1
	12 子どもが8~10時間の睡眠をとること。	6.3	5.8	13.9	6.2	4.2	23.6
サポート	13 子どもが人の役に立っていると感じること。	6.6	5.9	13.9	6.6	4.8	21.1
	14 子どもが自分にいよいよあると感じていること。	6.8	6	13.6	6.8	4.8	21.8
	15 子どもが自分のことを好きと感じること。	6.8	5.9	14.3	6.3	4.6	21.4
いじめ	16 子どもが学校であったことを、家の人に話すこと。	6.6	5.9	13.9	6.3	5	18.9
	17 子どもが困ったことや嫌なことがあったら、友達や周りの大人に相談できること。	6.8	5.8	15.0	6.6	5.2	18.5
	18 子どもが学級や学年、学校の友達を大切にすること。	6.7	6.3	11.4	6.9	5.1	20.0

### 《結果から今後に向けて》

○読書について、児童版・保護者版ともに数値の低さが見られました。学校においても、GIGA 端末の導入によって、タピング練習等タブレットに触れる時間が増えたことも原因の一つとして考えられます。国語科を中心として、子どもたちが様々なジャンルの本にふれたり、読書のおもしろさや価値について感じられたりする授業展開を考えていきたいと思います。ご家庭でも、夏休みの宿題で行ったような親子読書など、家庭の会話の中に読書の話題を意図的に取り入れていただき、学校や家庭で協力して子どもたちの読書に関する興味・関心を高めていなければと思います。

○18から、仲間を大切にすることを意識して生活できている子どもたちが多いようです。周囲の仲間を気遣いながら生活できることは大変すばらしいことです。一方で、14・15では、自分自身を肯定的に受け止めていない傾向が見られます。自己肯定感の向上は、様々な物事に対して主体的に行動を起こす際の原動力となります。(やる気が出ます。) 2学期には、たてわり活動やクラブ活動(高学年のがんばりがたくさん見られる活動)なども行っています。仲間や周囲の大人から認められる経験をたくさん積ませながら、自己肯定感の向上に取り組んでいきたいと思います。

○今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、学校での活動において様々な制限が設けられています。そのような状況下でも学校に通う「楽しさ」をさらに感じられるようにするとともに、子どもたちの学習が十分に深まるよう教育活動を進めていきたいと思います

[アンケートのご協ありがとうございました]